

ちょっと寄り道



役場2階のベランダに、サフィニアを植えたプランターが並んでいます。そのプランターの一つに、白鶺鴒(はくせきれい)の巣があり、7月中頃3羽のひなが産まれました。巣とひなに注意しながら花の水かけをしています。

誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ	親の氏名	行政区
ひなた	佐藤正和・佳奈子	前田
い斗	大谷 豪・麻美	小宮
あつた	山口昌洋・香奈子	上飯樋
雄大	菅野智之・信子	大久保・外
蓮	菅野智之・信子	大久保・外

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	行政区
嶋原 秀和	泥
大河原 寿子	福島市
齊藤 知洋	八木沢・青
佐藤 祥子	鹿島町
遠藤 誠	白
大村 七重	石

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 芳	86	八木沢・青
橋本 明美	39	比
高橋 タツヨ	84	関
高倉 マキノ	85	前田
大谷 乾	92	小
西内 ヨシ子	83	大久保・外
菅野 藤五郎	82	比
井上 折彦	77	関
大久保 紀	70	上飯
阿部 ハヤ	89	宮
田邊 アキイ	81	佐

ご冥福をお祈り申し上げます

(平成16年6月21日から7月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出て下さい。

村第5次総

「やるきつながらプラン」の舞台づくり
行政区土地利用計画の策定がスタート



ワークショップのようす

7月21日、いちばん館において「行政区土地利用計画説明会」が行われ、土地利用計画の策定がスタートしました。土地利用計画は、6月に成立した村第5次総合振興計画を基本とし、将来の村のあるべき姿や望ましい地域像を実現するために、土地利用の基本的な方向性を定めるものです。住民約100人が参加した説明会では、はじめに日本大学教授で村づくりアドバイザーの糸長浩司先生から計画策定の目的やワークショップの進

め方などが説明された後、早速住民らが策定作業に取り組みました。今後のスケジュールは、来年2月頃を目途に行政区別の土地利用計画を策定し、来年度には村全域の計画を策定する予定です。



ワークショップに参加する日大生(写真中央)

日本大学の学生も参加

今回の行政区土地利用計画策定には、アドバイザーとして日本大学の糸長研究室が、策定のためのワークショップや計画図面の取りまとめ、各種資料作成などの協力をいただくことにしています。この日の説明会には6人の研究生が参加し、それぞれ担当する行政区に入り、住民と一緒にワークショップに取り組みました。



村のうごき

元気な100歳を目指して

新世紀いきいきいたてセミナー



痴呆の予防について講演する高萩先生

「いきいきいたてセミナー」は、高齢者を対象に、学習や交流を通じて健康で明るい生活を送り、ゆとりある楽しい生活のあり方を求めるために、公民館が実施主体となつて毎年開催しています。7月14日、公民館において開催された第2回目のセミナーでは、約70人の住民が参加し、講師に「はらまち心療内科クリニック」の高萩健一院長先生を招いて、「呆ける生き方、呆けない生き方」と題して講演が行われました。講演の中で高萩先生は、「痴呆とは脳の病気であり、病気には原因があります」と話し、痴呆の症状や特徴、予防方法などについて、「自分の患者を例に挙げながら詳しく説明しました。その後には、相双保健福祉事務所の鈴木広幸課長から、正しい薬の飲み方についての講演が行われました。このセミナーは、今年度あと3回開催される予定です。

気をゆるめず安全運転 交通安全街頭キャンペーン



キャンペーン活動のようす

交通安全街頭キャンペーンは7月21日、公民館駐車場で交通安全関係団体と飯館ライオンズクラブの会員ら18人が参加して行われました。夏は暑さで気がゆるみがちになり、交通事故の発生度が高いことから、毎年この時期を「夏の交通安全運動期間」として、県内各地でキャンペーン活動が行われています。この日は、原町警察署飯館駐在所員によって公民館駐車場へ誘導されたドライバーに、参加者がチラシやティッシュ、ヤクルトなどを配りながら、安全運転を呼びかけました。この日配られた300本のヤ



ミニバレードに出発する参加者たち

クルトは、飯館ライオンズクラブ(菅野敬会長)から提供されたものです。

ミニバレードも実施

引き続き行われた「交通安全と防犯ミニバレード」では、参加者らが「交通安全運動実施中」と書かれたステッカーを貼った7台の車に乗り込み、交通安全と防犯を呼びかけながら村内全域をパレードしました。